

令和6年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文小学生の部
(県知事賞 優秀賞)

「防災無線の大切さに気づいた私」

鹿児島県 鹿児島市立花野小学校 5年 ^{みなみ}南 ^{きち}紗智

「緊急放送、緊急放送、こちらは、防災鹿児島市役所です。土砂災害が発生するおそれが高まったため、身の安全を確保してください。」

今年に入って、この放送を何度か耳にしていました。最初は、防災無線放送が鳴るたびに、「うるさいな、もう分かっているから」といかりを感じていました。特に夜中に鳴ると、ねむりを邪魔されることが多く、めいわくだとさえ思っていました。

また鹿児島だけでなく、私のウフとパーパー（与論の方言で祖父と祖母）のいる与論でも緊急避難放送が流れることもあり、その度に、父が与論へ電話をかけ、ウフとパーパーの安否確認を行い、ほっとしていました。

夏休み、与論に行った時、土砂災害防止の取組について取組についてパーパーにたずねてみました。与論島は平らで大きな山はありませんが、赤土でできているため、がけくずれが起きやすいそうです。

まず、パーパーは、テレビなどの情報を見て、台風が来る前に情報収集を行います。空が黒くなり始め、海もだんだんとあれだし、風が強くなってくると、家庭でできる対策を始めます。例えば、1週間分の食料を買いにいき、水をため、雨戸を閉め、庭に飛ぶものがないか、排水溝に葉っぱがたまっていないか点検をして方づけます。

島全体の取組としては、急なしゃ面をなだらかにする工事を行ったり、がけがくずれないように強をしたりしています。また、ひんぱんに台風がやってくるため、防災無線を使って早めの避難をよびかけています。ウフかパーパーも避難訓練には必ず参加し、万が一に備えて避難先のルートの確認を行っています。

パーパーの話聞いて、島の人々がどれだけ土砂災害防止に真げんに取り組んでいるのがよくわかりました。パーパーの経験を生かして、私も自分たちでできることを考えました。まず、家庭での備えとして、非常食や水をためておくことを定期的に確認し、必要なものを備えておくことが大切です。また、家の周りを点検し、飛びやすいものを片付けたり、雨戸をしっかりと閉めたりすることも必要です。

さらに、地域みんなの防災意識を高めるために、避難訓練に積極的に参加し、いざというときの避難する場所を確認することが必要です。防災無線か地域の情報を常にチェックし、早めの避難を心がけることも大切です。

私たち1人ひとりが防災意識を持ち、日頃から備えておくことで、災害があった時に、あわてなくて済みます。パーパーの話聞いて、私も防災についてもっと学び、家族が地域の人々と協力して安全な生活をすごしていきたいと強く思うようになりました。

この経験を通して、防災無線放送について嫌な思いを持っている自分の考えを反省しました。日頃から防災意識を持ち、情報をしっかりと受け止めることが、自分の家族の命を守るためにどれほど重要かを学びました。

これから、本格的な台風シーズンが始まります。その度に土砂災害の危険性も高まってくると思います。きっと防災無線放送も鳴ることでしょう。今後私は、防災無線放送が鳴るたびに、その情報について真げんに受け止め、あわてずに行動するようにします。そのことが、自分たちの命を守ることにつながり安全を守るための第一歩になると考えます。